

令和3年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

科目名：比較政治

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計2ページで4問ある。

1. 比較政治学
2. アメリカ政治

4問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 比較政治 出題分野名 比較政治学

問題1 「民主主義」の意味、またその実現のための制度的条件について説明したうえで、非民主的な体制としてどのようなものが存在し、またそれらの民主化を促す要因としてどのようなものが考えられるか、できるだけ多角的に論じなさい。

問題2 以下の問いから1問を選択し、解答しなさい。解答の冒頭に選択した番号を必ず明記すること。

(1) 「政党システム」が何を意味し、どのように分類されるか説明したうえで、選挙制度が政党システムの形成に及ぼす作用について、異なる選挙制度を採用する複数の国を事例として挙げながら、できるだけ多角的に論じなさい。

(2) イギリスの統治構造について、議会と政府の関係、上下両院の関係および選挙制度の3点にかならず触れて説明したうえで、近年その議会政治をめぐる状況に、どのような背景のもと、どのような変化が見いだされるか、できるだけ多角的に論じなさい。

科目名 比較政治 出題分野名 アメリカ政治

問題 1 アメリカ合衆国憲法の州際通商条項について、連邦最高裁判所による解釈の変遷を述べた上で、それがアメリカ政治に与えた影響をできるだけ多面的に論じなさい。

問題 2 以下の問いから 1 問を選択し、解答しなさい。解答の冒頭に選択した番号を必ず明記すること。

(1) 政党再編成論とはどのような議論かを明らかにした上で、それが近年のアメリカの政党間関係を説明する上でどの程度有益なのかについて、できるだけ多面的に論じなさい。

(2) 単独行動主義的大統領制（ユニラテラルな大統領制）とは何かを明らかにした上で、それがなぜ出現したのかについて、アメリカ政治における大統領の役割の歴史的な変遷をふまえて、できるだけ多面的に論じなさい。